



平成 21 年 3 月 26 日

各 位

会社名 株式会社ラウンドワン  
 代表者名 代表取締役社長 杉野 公彦  
 コード番号 4680 東証・大証第一部  
 問合せ先 常務取締役管理本部長 西村 孝之  
 072-224-5115 (代表)  
<http://www.round1.co.jp>

## 2009年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 2 月 6 日 (連結) 及び平成 20 年 11 月 7 日 (個別) に発表した平成 21 年 3 月期通期業績予想を修正いたしましたので、お知らせします。なお、配当予想に関しては修正ございません。

記

### ・ 通期業績予想の修正

( 1 ) 平成 21 年 3 月期の通期連結業績予想の修正 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

|               | 売上高    | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|---------------|--------|--------|--------|-------|----------------|
|               | 百万円    | 百万円    | 百万円    | 百万円   | 円 銭            |
| 前回発表予想 (A)    | 78,000 | 13,070 | 10,500 | 5,000 | 79 26          |
| 今回修正予想 (B)    | 78,000 | 13,370 | 10,100 | 4,500 | 71 33          |
| 増減額 (B) - (A) | 0      | 300    | 400    | 500   | -              |
| 増減率 (%)       | -      | 2.3    | 3.8    | 10.0  | -              |
| 前期実績          | 77,993 | 18,287 | 15,986 | 9,152 | 14,507 10      |

( 2 ) 平成 21 年 3 月期の通期個別業績予想の修正 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

|               | 売上高    | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|---------------|--------|--------|--------|-------|----------------|
|               | 百万円    | 百万円    | 百万円    | 百万円   | 円 銭            |
| 前回発表予想 (A)    | 80,000 | 9,900  | 12,000 | 5,900 | 93 52          |
| 今回修正予想 (B)    | 78,000 | 8,700  | 10,100 | 4,500 | 71 33          |
| 増減額 (B) - (A) | 2,000  | 1,200  | 1,900  | 1,400 | -              |
| 増減率 (%)       | 2.5    | 12.1   | 15.8   | 23.7  | -              |
| 前期実績          | 77,993 | 14,097 | 15,986 | 9,152 | 14,507 10      |

(注) 単位未満金額は切捨て表示しております。

『増減率』は、少数第二位を四捨五入しております。

当社は平成 21 年 1 月 4 日付けで当社株式 1 株につき 100 株の割合をもって株式分割を行っております。なお、今回修正予想の 1 株当たり当期純利益の算出にあたっては、連結においては平成 20 年 12 月末現在の総発行済株式数から自己株式を控除した株式数を 100 分割したものとみなした 63,083,493 株を、個別に関しては平成 20 年 9 月末現在の総発行済株式数から自己株式を控除した株式数を 100 分割したものとみなした 63,086,673 株使用しております。

監査法人による監査を受ける前の数値により集計しておりますので、決算発表時の数値とは異なる可能性があります。

通期個別業績予想の前回発表予想に関しては、平成21年2月6日に開示した業績説明資料にて売上高78,000百万円、営業利益8,400百万円、経常利益10,500百万円、当期純利益5,000百万円と開示しておりますが、今回は平成20年11月7日に開示した「2009年3月期 第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」の数値を使用しております。

## ・差異の発生及び通期業績の修正理由

### (1)「営業利益」と「経常利益」について

3月の第3週までの売上実績をみると、既存店ベースの前年比では、ボウリングがプラスに転じ、アミューズメントは、概ねマイナス6%~7%までの回復がみられ、結果として総売上では5.5%程度(当月の第3週までは、前年に比べて土曜日が1日少ないことを勘案すると、実質は3%程度と予測されます)と、ほぼ計画通りに推移しております。

営業利益におきましては、広告宣伝費の削減や新規リースの取り組みの見直し等により、売上原価が減少した結果、利益の増加が見込まれました。一方で、昨今の非常に厳しい金融マーケット状況の中、新規店舗の出店資金の調達においては、従来から取り組んでおりましたノンリコースローンによる資金調達が厳しい状況となりましたが、優良な好条件の出店案件が非常に多く、この機会をチャンスと捉えると共に、今後の資金調達手段の多様化も鑑み、シンジゲートローンによる289億円の調達等を採用することとなりました。これらの結果、営業外費用のローン手数料等の発生により経常利益を見直すこととなりました。

### (2)「当期純利益」について

来期(平成22年3月期)に出店を予定していた府中店(仮称)ですが、投資効率を見直した結果、出店を取りやめる方向で検討を進めることになりました。これにより特別損失が発生する可能性が生じたため、当期純利益を修正することになりました。

## ・財務体質の強化と出店計画

本日同時に発表しております「第三者割当による第1回乃至第4回無担保転換社債型新株予約権付社債(転換社債型新株予約権付社債間限定同順位特約付)(強制転換価額修正条項付)および新株式発行に関するお知らせ」による当社新株予約権付社債の第三者割当や当社普通株式の第三者割当、及びシンジゲートローン等により調達した資金は、来期以降の新規出店資金、及び北米への新規出店分(現地100%子会社を通じて出店予定)として活用する計画です。またこれらの資金調達は、併せて大幅な財務体質の強化に繋がるものと思われま

す。なお、現状では平成22年3月期の新規出店は以下のように計画しております。

【平成22年3月期】(店舗名やオープン期は諸事情により変更される場合があります)

| 店舗名   | 店舗タイプ  | 店舗名      | 店舗タイプ  | 店舗名       | 店舗タイプ  |
|-------|--------|----------|--------|-----------|--------|
| 仙台苦竹  | スタンダード | 習志野      | スタンダード | 高知        | スタンダード |
| 沖縄南風原 | スタンダード | 甲府       | スタンダード | 鴻巣        | スタンダード |
| 徳島    | スタンダード | ららぽーと新三郷 | スタジアム  | 市川        | スタンダード |
| 埼玉上里  | スタンダード | 静岡駿河     | スタンダード | 北米(1店舗予定) | スタンダード |

(注)「府中店」(仮称)は出店を取りやめる方向で検討を進めることになりましたが、新たに「ららぽーと新三郷店」(仮称)を本年9月に開業する予定です。なお、弊社は大型ショッピングセンター内のアンカーテナントとして出店するもので、大型スポッチャを完備したフルアイテムのスタジアム型店舗で、弊社店舗の中でもトップクラスの収益が期待される店舗です。また、建物から内装に至るまでが貸主側により準備される新しい出店形態です。

上記の業績予想は現時点での予想数値であり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以上